



第87期  
中間報告書

(令和4年3月1日から  
令和4年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

# 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第87期上半期(第2四半期連結累計期間：令和4年3月1日から令和4年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

令和4年10月

代表取締役社長

岡谷健広



## 営業の概況

### ◆ 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、地政学リスクの顕在化や中国のゼロコロナ政策による経済活動の停滞はありましたが、欧米、アジアで需要が高まりました。日本経済は、サプライチェーンの混乱等により製造業の生産活動の回復にやや遅れがあるものの、底堅く推移しました。

このような環境において、当第2四半期連結累計期間における売上高は、4,686億円となりました。

## 営業の概況

損益につきましては、売上総利益が380億38百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益が157億81百万円（前年同期比48.3%増）、経常利益が166億55百万円（前年同期比28.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は112億85百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり120円とし、支払開始日を10月31日とさせていただきます。

### ◆ 通期の見通し

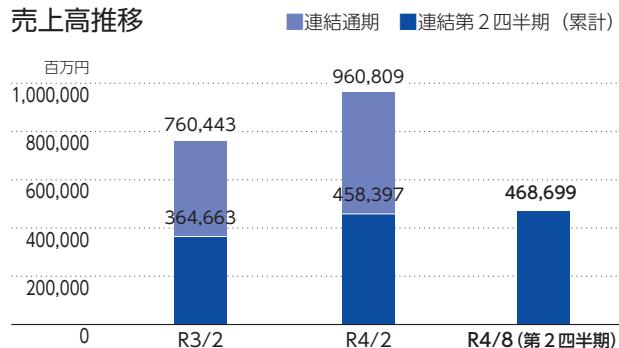
令和5年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては令和4年3月31日発表の予想数値を据置いております。

当社グループの令和5年2月期の連結売上高は8,500億円、営業利益は220億円、経常利益は260億円、親会社株主に帰属する当期純利益は180億円を見込んでおります。

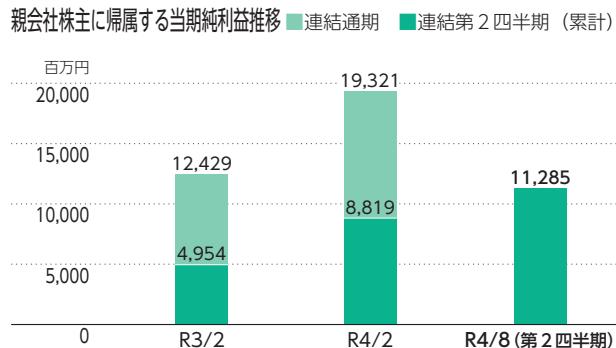
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務ハイライト

## 売上高推移

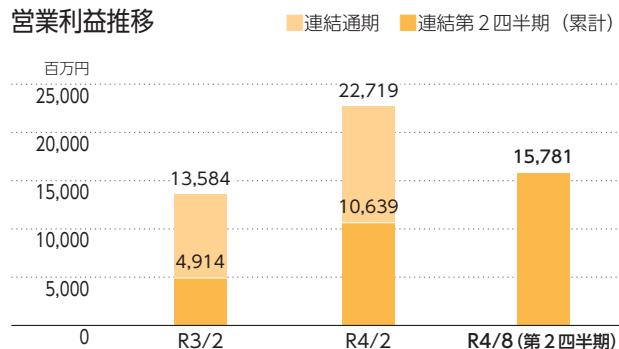


## 親会社株主に帰属する当期純利益推移

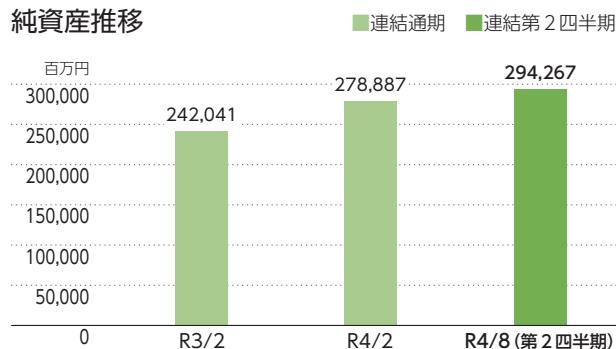


(注) 令和5年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

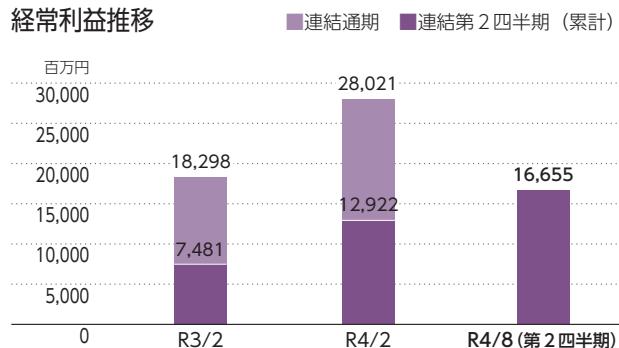
## 営業利益推移



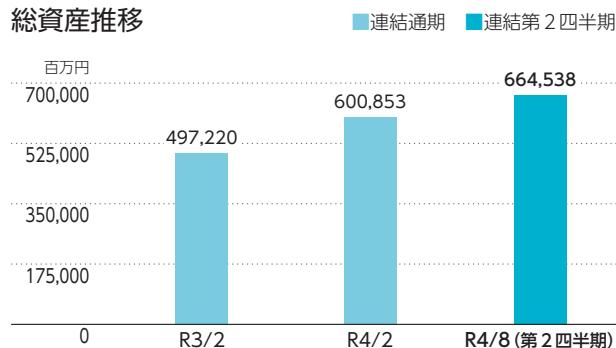
## 純資産推移



## 経常利益推移



## 総資産推移



# トピックス

## 1. 新事業推進部を新設

令和4年3月に、メカトロ本部の下部組織として新事業推進部を新設しました。工場内物流の省人化・自動化等を軸に、デジタル技術を活用した新たなビジネス創出に取り組んでいます。

## 2. 健康経営優良法人2022に認定

令和4年3月に、昨年度に引続き「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定されました。併せて、グループ会社21社がそれぞれ大規模法人部門、中小規模法人部門に認定されました。



## 3. ウクライナ情勢に関する支援

令和4年3月に、ポーランドの子会社 Poland Tokai Okaya Manufacturing Sp. z o.o.とともに、同社で勤務するウクライナ人従業員ならびにウクライナ国内およびその周辺地域で避難をする方々に対し、総額約300万円の支援を行いました。

## 4. 大容量データ通信に関する実証実験を実施

令和4年6月に当社および岡谷エレクトロニクス株式会社は、株式会社オプテージとともにローカル5Gシステムと3D LiDARセンサを用いた実証実験を行いました。今後、自治体、外食・小売、建設・不動産、公共交通、広告向け等、様々な分野での活用が期待できます。

## 5. チャリティーコンサートを開催

令和4年7月に、今回で10回目となるチャリティーコンサートを、感染対策を施した上で約3年ぶりに有観客にて開催しました。

なお、地域の社会福祉向上のため、380万円余を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。



## 6. 義援金寄付

国内グループ会社とともに、令和4年7月に発生した宮城県松島町での大雨災害、令和4年8月豪雨災害に対し、義援金を寄付しました。

# セグメント情報

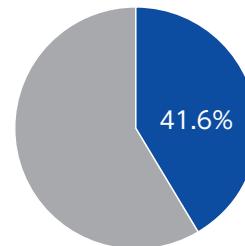
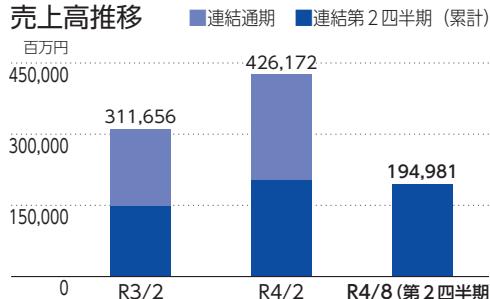
## 鉄 鋼



(取扱品目)

鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、  
機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具  
鋼、ステンレス鋼 他

### 売上高推移



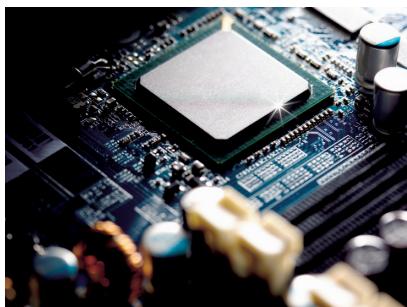
鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、建材関連や製造業向けを中心に増加しました。

特殊鋼部門は、産機・工作機械向けが国内外で増加しました。

海外は、鋼材価格の上昇に加え、生産活動の拡大に伴い、欧米向けが増加しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、1,949億円となりました。

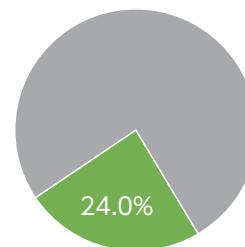
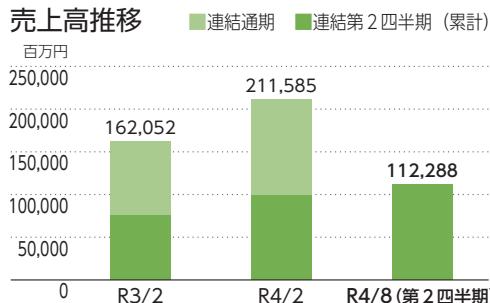
## 情報・電機



(取扱品目)

銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用  
電機品、映像機器、半導体・周辺電子部  
品、ソフトウェア開発・販売 他

### 売上高推移



エレクトロニクス部門は、FAおよびPC関連が増加しました。

非鉄金属部門は、家電製品用部材および電子部品用材料が増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、1,122億円となりました。

(注) 令和5年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

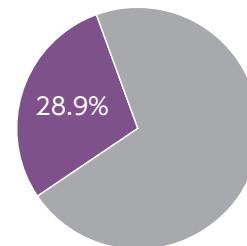
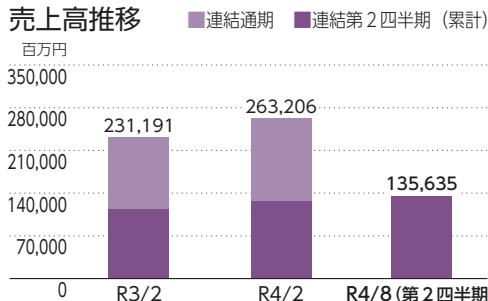
## 産業資材



(取扱品目)

工作機械、工具、産業用ロボット、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器、航空機部材、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品 他

### 売上高推移



メカトロ部門は、車載関連および航空機向け部材が増加しました。化成部品部門は、原材料価格の上昇に加え、国内外の自動車関連が増加しました。

産業資材セグメントの売上高は、1,356億円となりました。

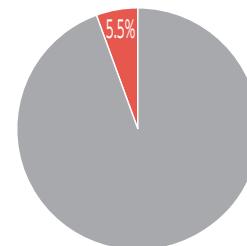
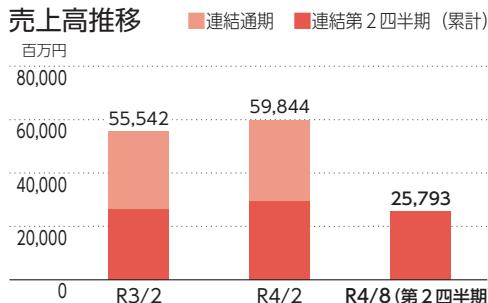
## 生活産業



(取扱品目)

配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

### 売上高推移



配管建設部門は、分譲マンションの販売が減少しましたが、配管資材が増加しました。

食品部門は、水産物および鶏肉の輸入取引が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、257億円となりました。

(注) 令和5年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

# 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (令和4年8月31日現在)	前連結会計年度 (令和4年2月28日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	412,176	355,947
固定資産	252,362	244,905
有形固定資産	57,931	53,907
無形固定資産	2,038	2,182
投資その他の資産	192,391	188,815
資産合計	664,538	600,853
<b>負債の部</b>		
流動負債	306,322	260,224
固定負債	63,947	61,741
負債合計	370,270	321,965
<b>純資産の部</b>		
株主資本	196,524	186,394
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,802	7,801
利益剰余金	180,095	169,965
自己株式	△ 502	△ 500
その他の包括利益累計額	85,666	80,885
その他有価証券評価差額金	73,043	72,377
繰延ヘッジ損益	543	94
為替換算調整勘定	5,651	1,386
退職給付に係る調整累計額	6,427	7,028
非支配株主持分	12,077	11,607
純資産合計	294,267	278,887
負債純資産合計	664,538	600,853

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (令和4年3月1日から 令和4年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (令和3年3月1日から 令和3年8月31日まで)
売上高	468,699	458,397
売上原価	430,660	427,014
売上総利益	38,038	31,383
販売費及び一般管理費	22,257	20,743
営業利益	15,781	10,639
営業外収益	3,901	3,361
営業外費用	3,026	1,078
経常利益	16,655	12,922
特別利益	47	67
特別損失	69	16
税金等調整前四半期純利益	16,633	12,972
法人税、住民税及び事業税	4,890	3,902
法人税等調整額	14	△ 104
四半期純利益	11,729	9,174
非支配株主に帰属する四半期純利益	443	354
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,285	8,819

(注) 令和5年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

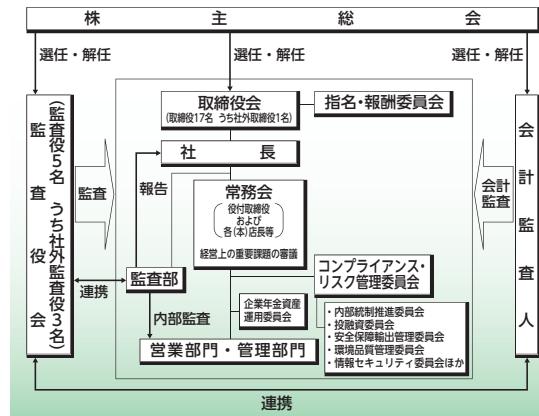
# 内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

## 1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

## 2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <https://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項
- ⑦ 当社および子会社の取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- ⑧ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



# 利益配分に関する基本方針および株主優待について

## 1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

## 2. 株主優待

当第2四半期末（令和4年8月期）株主優待として、8月末保有株式数200株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

なお、当期末（令和5年2月期）保有株式数100株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の最終株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、保有株式数100株以上の株主様に《図書カード2,000円相当》をお贈りいたします。

発送は通常の株主優待とは別送になります。

転居などにより、株主優待品をお届けできないケースがあります。  
確実にお届けするため、転居などによりご住所が変更となった株主様は、住所変更のお届出をお願いいたします。



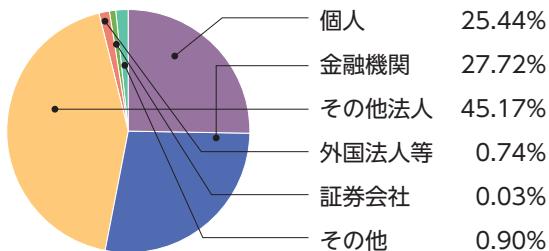
# 株式の状況 (令和4年8月31日現在)

## 株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200株
発行済株式の総数	9,720,000株
株主数	4,178名

## 株式分布状況

### 所有者別割合



## 大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.01
株式会社三菱UFJ銀行	462	4.80
日本製鉄株式会社	434	4.51
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	172	1.79
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.44

- (注) 1. 持株比率は自己株式(87,084株)を控除して計算しております。  
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

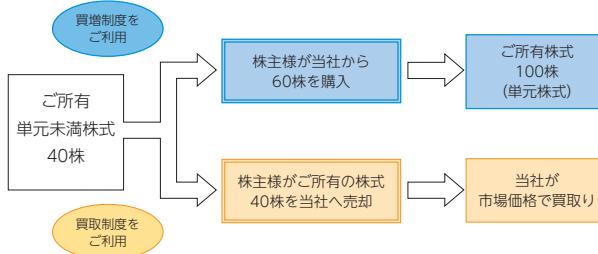
# 株式に関するお知らせ

## 単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

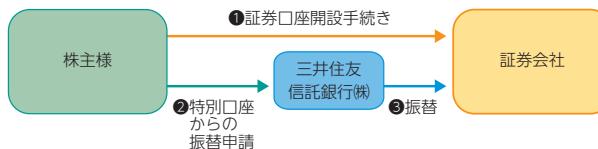
### 【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



## 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座\*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座  
 株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
 定時株主総会 5月  
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日  
 中間配当 8月31日

公告の方法 電子公告  
 ただし、電子公告によることができない  
 やむを得ない事由が生じたときは、日本  
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

[https://www.okaya.co.jp/ir/public\\_notice/](https://www.okaya.co.jp/ir/public_notice/)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
 全国本支店で行っております。

## ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信  
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載  
 しています。  
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス  
<https://www.okaya.co.jp/>

## 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	口座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>特別口座から証券口座への振替請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	

## 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて  
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分  
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告  
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封  
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい  
 ユニバーサルデザインフォント  
 を採用しています。



環境に配慮した  
 植物油インキを  
 使用しています。